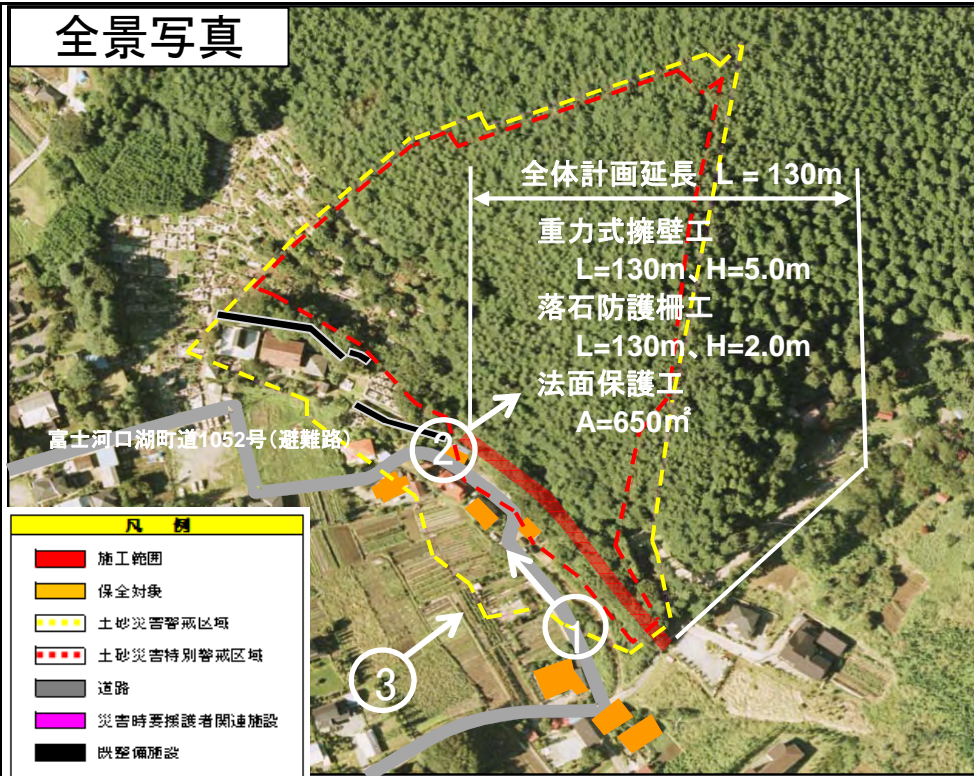


1. 事業評価説明シート

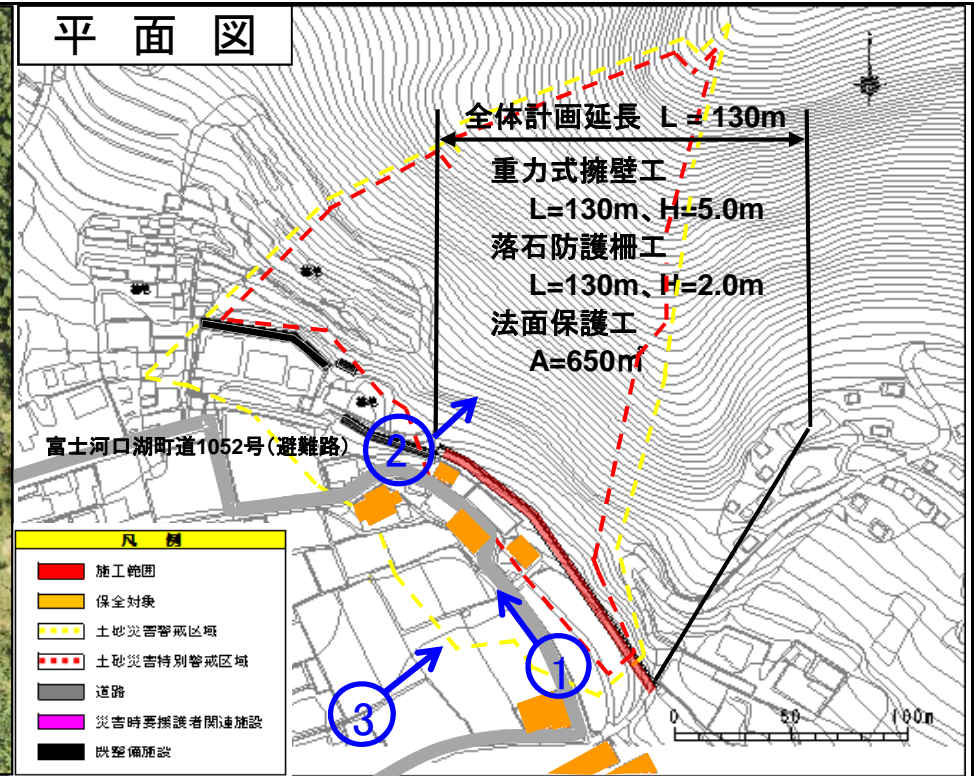
事業名	事業箇所	地区名	事業主体												
急傾斜地崩壊対策事業 [急傾斜地崩壊対策事業(国補)]	南都留郡富士河口湖町 大石	大石(おおいし)	山梨県												
<p>(1) 事業概要</p> <p>①課題・背景</p> <ul style="list-style-type: none"> 大石地区は、県東南部の南都留郡富士河口湖町大石に位置する、河口湖岸沿いの急傾斜地である。 当該斜面は平均斜面高50m、平均勾配34度の急傾斜地であり、火山噴出物に広く覆われ、当該斜面では小規模な崩壊や落石が発生している。 保全対象区域には、地域防災計画での指定避難路となる富士河口湖町道1052号線のほか、家屋連担地が存在し、当該斜面が崩壊した場合には甚大な被害を及ぼすことが予想され、その対策が急務である。 <p>②整備目標・効果</p> <p>□主要目標 ○崖崩れの被害の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> 過去の災害実績、緊急度、災害発生危険度：14点≥10点以上※ 人家一戸当りの被害軽減額：44百万円/戸≥39百万円/戸以上※ 災害時重要公共施設：無 保全対象(人家7戸、重要公共施設：富士河口湖町道1052号L=158m) <p>□副次目標 - 「※」：評価基準値</p> <p>□副次効果 -</p>		<p>(3) 事業の妥当性評価 妥当・妥当でない</p> <p>①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> 急傾斜地法第12条により、行政が行うことが妥当。 <p>②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> 急傾斜地法第12条により、県が行うことが妥当。 <p>③経済妥当性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>費用便益費 便益(B)/費用(C) = 1.8 > 1.0 ・便益(B) = 306百万円、・費用(C) = 169百万円</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> 地形状況を考慮し、必要最小限の規模とした。 <p>⑤整備手法の有効性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> 地形・地質状況から最も効果的・経済的な工法とした。 <p>⑥環境負荷への配慮 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> 緑化等を行い、環境負荷に配慮する。 <p>⑦事業計画の熟度 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> 地元要望に基づいており、地域の同意は得られている。 <p>総合評価 [貢献度ランク：a] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>													
<p>(2) 整備内容と整備量</p> <p>①整備内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 重力式擁壁工L=130m H=5.0m ・落石防護柵工L=130m H=2.0m ・法面保護工A=650m² <p>②整備期間 平成26年度～平成29年度</p> <p>③総事業費 約180百万円 (国費85.5百万円(4.75/10)、県費85.5百万円(4.75/10)、町9百万円(0.5/10))</p> <p>④全体計画 (年度別整備内容) (事業費)</p> <table border="1"> <tr> <td>平成26年度</td> <td>地形測量、地質調査、詳細設計</td> <td>20百万円</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>用地測量、用地取得・補償、(重力式擁壁) 工事</td> <td>80百万円</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>(重力式擁壁・落石防護柵・法面保護) 工事</td> <td>40百万円</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>(重力式擁壁・落石防護柵・法面保護) 工事</td> <td>40百万円</td> </tr> </table> <p>⑤既整備内容・期間・事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> 既整備内容 大石地区(隣接箇所)重力式擁壁L=114m (S55:L=47m、H=5.0m S56:L=67m、H=4.5m) 期間 S55～S56 事業費 35百万円(S55:16百万円、S56:19百万円) 		平成26年度	地形測量、地質調査、詳細設計	20百万円	平成27年度	用地測量、用地取得・補償、(重力式擁壁) 工事	80百万円	平成28年度	(重力式擁壁・落石防護柵・法面保護) 工事	40百万円	平成29年度	(重力式擁壁・落石防護柵・法面保護) 工事	40百万円	<p>【事業位置図等】</p>	
平成26年度	地形測量、地質調査、詳細設計	20百万円													
平成27年度	用地測量、用地取得・補償、(重力式擁壁) 工事	80百万円													
平成28年度	(重力式擁壁・落石防護柵・法面保護) 工事	40百万円													
平成29年度	(重力式擁壁・落石防護柵・法面保護) 工事	40百万円													

2. 添付資料シート

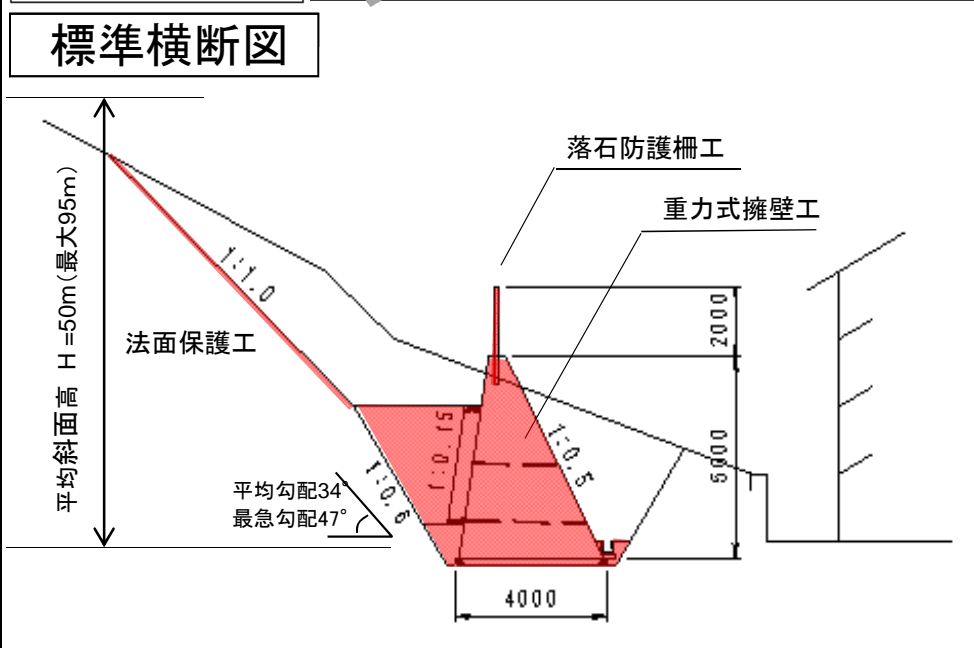
全景写真



平面図



標準横断図



①: 保全対象



②: 斜面状況(近景)



③: 斜面状況(遠景)

